

# 予算特別委員会

## 補正11億6600万円を賛成多数で可決

(賛成42人 反対19人)

# 賠償金に意見が集中

本定例会において、平成18年度一般会計補正予算が計上されました。

補正予算は、歳入歳出それぞれ11億6575万3千円を追加し、総額を256億1974万円とするもので、予算特別委員会において慎重に審査を行いました。

歳出の総務費では、旧碓井町の控訴審判決にともなう、弁護士成功報酬および損害賠償金1289万9千円が計上され、当時の碓井町長であった現助役に対する意見が多く出されました。

予算特別委員会での主な質疑は次のとおりです。  
Q 職員547人、臨時嘱託職員394人、合わせて941人と膨大な数字であり、行財政改革の流れに反するのではないか。

A 市民サービス低下がないように総合支所方式をとった結果だが、臨時職員47人分について見直し、6人の削減を行った。  
Q 旧碓井町の控訴審判決にともなう賠償金など

1289万9千円について 査定、工事の実施となるが、では、敗訴にともなう費用 慎重に対応すべきではないか。  
Q 職員547人、臨時嘱託職員394人、合わせて941人と膨大な数字であり、行財政改革の流れに反するのではないか。  
A 当然支払いの義務がある。しかし、判決文によれば、当時の町長(現助役)の裁量権の逸脱にともなうものであり、助役に対し責任をとらせる考えはないのか。  
A 今後の県の査定を経て、所属の委員会では協議し理解を得ながら執行していく。

Q 旧碓井町の控訴審判決にともなう賠償金など  
Q 泉河内の災害復旧工事について、県への申請、



## 第2回 9月定例会

8日	本会議	提案
11日	本会議	質疑
12日	各常任委員会	
13日	各常任委員会	
14日	各常任委員会	
15日	予算特別委員会	
19日	議会運営委員会	
20日	本会議	一般質問
21日	本会議	一般質問
22日	本会議	一般質問
25日	本会議	一般質問
26日	本会議	一般質問
28日	本会議	採決



# 討 論

## 賠償金が争点

討論でも、総務費の賠償金に意見が集中し、反対、賛成討論が出されました。  
主な討論内容は、次のとおりです。

### 賛成討論

・指名回避は旧碓井町の  
の前々執行部時代に住宅補償費の不正支出問題や、公共工事入札に際し情報漏洩があった等、一連の疑惑があり、やむを得なかった。  
・行政を正常に戻すために行ったもので助役個人の責任ではない。  
・損害賠償金は、敗訴にともなうもので、国家賠償法で支払わなければならず仕方ない。  
・助役の問題はあるが、本予算のなかには、緊急を要する災害復旧費など必要な予算が多々あり賛成をする。

### 反対討論

・損害賠償の原因者である助役が何の責任もとらず、その負担を嘉麻市にさせることはおかしい。  
・助役の問題をこのまま放置し責任をとらせないとするならば、今後職員の問題や飲酒運転の問題などが起きたとき、問題を起した職員の対処への障害となる。  
・財政難のなかで、このようなことを市民は納得しない。

## 記名投票で採決

討論終了後採決では、記名投票での採決が求められ(2人以上で成立)、投票での採決となりました。

開票の結果、61人中、賛成42人、反対19人の賛成多数で可決しました。

# 一般会計・特別会計 補正予算の概要

一般会計 11億6,575万3千円追加  
総額 256億1,974万円

国民健康保険特別会計 3億2,105万6千円追加  
総額 56億5,046万3千円

老人保健特別会計 補正なし  
総額 73億1,908万円

住宅新築資金等特別会計 補正なし  
総額 1億6,632万7千円

介護保険事業特別会計 10万5千円追加  
総額 48億5,224万2千円

水道事業特別会計 3,075万6千円追加  
総額 10億1,050万8千円

### 一般会計補正の主なもの

(歳入)	
地方交付税	1億4,377万9千円増
災害復旧費	1億1,675万5千円増
合併特例債	8億3,940万円増
災害復旧債	6,680万円増
(歳出)	
賠償金等	1,289万9千円増
地域振興基金積立金	8億6,360万円増
アスベスト改修工事費(山田支所)	3,250万円増
災害復旧工事費	2億371万8千円増
臨時職員賃金	3,445万9千円増



※特別会計補正予算は、全会一致で可決しました。